農作物の当面の技術対策について

令和7年4月25日農業技術課

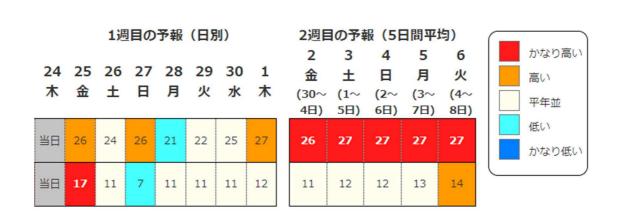
<天気概況>

甲府地方気象台から、今後の気温はかなり高温で推移するとの発表になっています。

週間天気予報によると、4月28日に一時的に降雨があるものの、2週間予報では高温で推移し、降水量は少ない予報となっています。

今後の気象推移に注意し、農作物の管理には注意して下さい。

| 山梨県の天気予報(6日先まで) | | | | | | | | |
|---------------------------|----|--------------|--------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 2025年04月25日05時 甲府地方気象台 発表 | | | | | | | | |
| 日付 | | 今日 25日(金) | 明日 26日(土) | 明後日 27日(日) | 28日(月) | 29日(火) | 30日(水) | 01日(木) |
| 山梨県 | | 曇後晴 | 晴 | 晴時々曇 | 曇一時雨 | 曇時々晴 | 晴時々曇 | 曇時々晴 |
| | | | | | △ | A | | A |
| 降水確率(%) | | -/0/10/10 | 0/0/10/10 | 10 | 50 | 40 | 20 | 30 |
| 信頼度 | | - | - | Α | С | С | А | A |
| 甲府 気温 (℃) | 最高 | 26 | 23 | 26 (23~28) | 21 (18~26) | 22 (21~27) | 25 (22~28) | 27 (24~30) |
| | 最低 | 2 | 12 | 7 (6~9) | 11 (8~12) | 11 (8~13) | 11 (8~13) | 12 (10~14) |



<気象予報> 気象庁 4月24日時点

1 果樹

<共 通>

- ○モモ、スモモ等は結実~幼果期、デラウエアは早場では間もなく花粉離散 となり、大房系ブドウは展葉期となっている。
- 〇高温の乾燥防止は定期的なかん水に努める。 $7 \sim 10$ 日間隔で、1回あたり20~30 mmの十分なかん水を行う。
- ○草生栽培園では、定期的な草刈りを実施し、水分競合を避ける。
- ○樹冠下は、わらマルチや草刈により土壌の乾燥を防止する。特に苗木や若木 では徹底する。
- ○かん水施設等のない園では、樹冠下を中心に1樹当たり200~300リットルをかん水する。
- ○アザミウマ類やハダニ類の発生が多くなることが懸念されるため、定期的 な防除を徹底する。

<施設ブドウ>

○果粒軟化期以降からは、高温多湿によるムレ(果粒への結露)を抑えるため、 換気が遅れないよう注意する。

<ブドウ>

○高温で推移する場合、生育が前進するため、特に早場地域や生育促進剤の利用により展葉が進んでいる園では、防除が遅れないように注意する。また、 黒とう病対策として、展葉初期の防除(チオノックフロアブル)が遅れないよう注意する。

<立木類>

- ○モモせん孔細菌病対策として、落花直後から7~10日間隔で防除剤(アグレプト液剤・水和剤、マイコシールド)を散布する。また、黒星病の重点防除時期でもあるため、防除を徹底する。
- 〇モモでは、満開後20~40日頃(第1肥大期)に急激な摘果を行うと、核 割れ果、変形果、生理落果の発生を助長するため段階的に行う。
- ○結実が不足している樹では、側枝単位での収量調節を実施する。特に新梢が 徒長しやすいため、新梢管理を徹底する。

2 野菜

<施設野菜>

○施設内が高温・乾燥にならないよう、日中は25~28℃前後を目標に換気し、適宜、かん水する。

<スイートコーン>

○開花・受粉期の水不足は品質等に影響することから、適宜、かん水する。

<露地野菜>

○定植後に乾燥が続き、朝方に葉がしおれるような場合は、かん水する。

3 水稲

○育苗にあたっては、気象の推移に応じて、きめ細かい管理を行う。特に、 保護苗代及び施設育苗においては、最高気温に注意し、トンネルまたはハ ウスの換気・水管理等に十分注意する。

4 花き

○鉢花・洋ランは、日中、ハウス内が高温にならないよう、遮光や換気を徹底する。また、鉢の乾燥に注意し、こまめな水やりに努める。